

---

# Wild Honey in White

---

"Fate/Grand Order"'s Fan book

Presented by Peθ

**WARNING:** For Over 18 ONLY!



**R-18**  
ADULT ONLY





カルデア  
……ここじや  
いつもこんな  
シケた気候だけだよ  
暦じゃブリテンでも  
冬が近い頃  
だったっけか……って

……ん……  
別に

モーさん？  
俺も心なしか  
避けられ……  
というか  
すべてを  
遠ざけている  
かのようだ  
どうしたの？



そうだね  
俺の故郷でも  
同じだよ

彼女が  
セイバーだった頃の  
落ち着きとも  
ちよつと違う  
思えば  
以前の彼女と  
今の彼女とは  
色々違いがある

モーさん  
冬は嫌い？

……そりや嫌いだよ  
……海で遊べねえ  
季節……だし？

……だから最近  
元気がないの？

夏の間はただ  
浮かれていた  
だけだと  
思ってたけど



そう  
単純な理由でも  
ないのかも  
しれない





うむ  
具体的には  
宝具変更の  
提案だが

その甲冑  
南の島では  
暑苦しかろう

何か海に相応しい  
宝具があれば  
持ってくるがいい

その宝具に  
合ったクラスに  
調整してやろう

わかったぜ!



…とは  
言うがな  
儂が直接  
あやつに調整を  
施した箇所など  
ほんの僅かだぞ?

……え  
そうなんです?

…意外か?  
儂があやつの  
人格まで弄ったと  
思っておったか

あつ  
いいえっ……!



10年という  
瞬きのような時間を  
すべて親への因縁に  
捧げた生だったのなら

その象徴であろう  
宝具と引き離せば  
霊基の人格にも  
影響が及んでも  
おかしくはない

そんなところ  
だろう

え……



とにかく  
それだけだ  
……しかし

聞くとところによると  
元々持っていた  
剣と甲冑  
あやつとの両親との  
深い因縁が  
宿っているそうだな

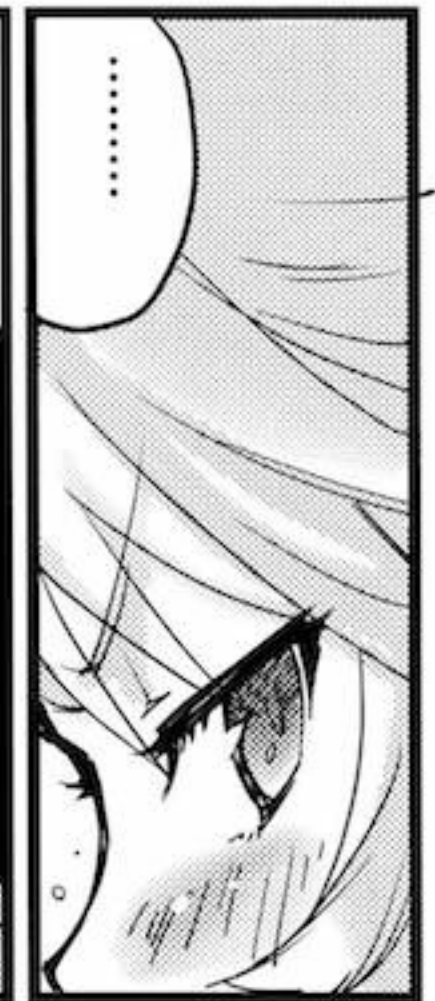
——そして  
あやつ自身の  
人生も

そ……んな……  
モーさん……  
なんで言っ  
てくれなかつたんだ……



※C92発行の拙作「With my Wild Honey」の一応続編という形ですが内容をご存じなくても特に差し支えはありません。







モ……ッ



ピクピク

……お オマエと  
一緒にいると……  
そういう気持ち  
ちよっと和らぐ  
かも……



ピクピク

今更だとは  
わかつてる

ピクピク

わかつちや  
いるが……!!

ピクピク

ピクピク

……キ、キ、キスぐらいなら……  
や、やっぱり彼女のためにも止めたほうが……



ピクピク

……ちよちよと  
癒せたんだ  
よかつた

……  
してもいい……って奴?

……でも  
この状況は?



いけない

10歳か?

10歳って……

あくもう  
完全に  
待ち顔だし  
せがまってるし

……  
続けていいのか!?  
事案なのか!?



キキキスぐらいなら……

……あゝ  
唇小さい柔らかい  
体温高い良い匂い

……り理性  
理性を保て

……んッ……

でもこの……  
久しぶりの  
キス……

八重歯の  
感触が……



八重歯の……！



……オマエが  
スカサハに  
聞いてたこと  
気にせず……  
してくれて……  
安心したぜ

……この  
スケベマスター♡



……ありがとな

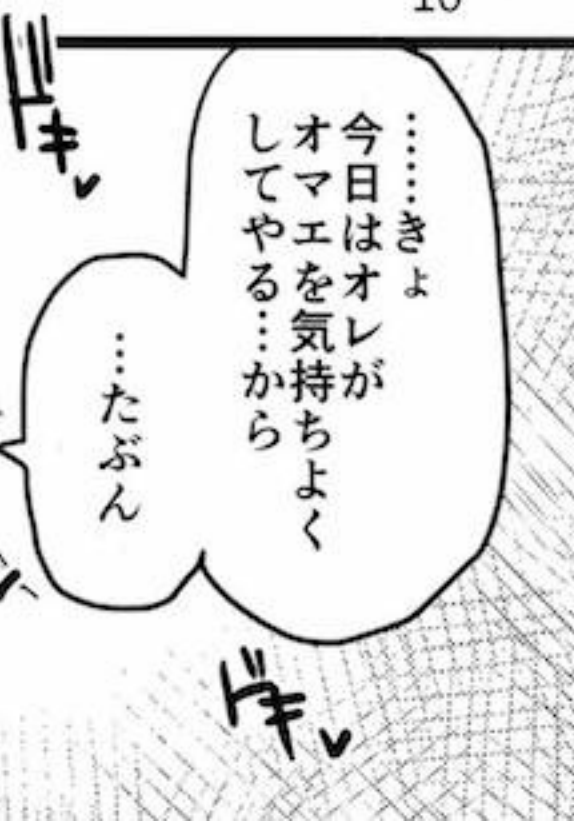
え？



めっちゃ  
気にした  
(その上で負けた)

……ッ！！











お!?

俺も  
吹っ切れたよ

が  
し

……うん  
わかった  
ごめんね  
モーさん

あこれは  
そろそろ

もう  
我慢が



ばさっ!!

俺だって……  
叛逆して  
やりますよ!!  
つまらない  
良識とかに!!

はっ

わ  
わっ



ひえ……

モーさんも今  
俺の  
めっちゃ  
見たでしょ!  
おあいこ  
おあいこ

ちよ……  
待てまで  
ああ……  
……明かり……

え  
あ……

151530♡







潮ッッ



んあ……あ……ッ♡  
や……ッ

わん

わん

わん

やだ……ッ  
やだやだやだ  
やだああ

わん

わん



ばかあ……ッ

ばかやろう  
ばか

ひぐっ  
うっ  
ブル

あ〜〜〜  
ありがとうございます……  
……  
じゃなくて  
ごめんごめん



ブル……

ホントごめん  
久しぶりで……  
ついつい……

めっちゃ  
おれた

つ次  
あんなふうにしたらあ……  
ブン殴るからな……ッ!

あつでも正直  
最高だったんで

バカ!!  
バ〜〜〜カ!!



改めて……  
入れても……いい?  
また  
我慢できなく  
なってきた

……ッ  
……もお  
好きに  
しろよお……!



ハッ

ハッ





…さつきの余韻で  
膣内すっごい  
ヒクヒク動いてる  
ない一発目が  
やばかったら  
やばかった…

…うわ…ッ  
モーさん  
気持ちい…ッ

…だめだ  
マスタあ…ッ  
たの…む  
ゆっくり…

…あ…ッ

優し…ッ



ばいっ...だから  
もたねえから...ツ

女の子のイイクのって  
さらにいきやすく  
なるんだっけ

そっか

グッ

グッ

グッ

ギョッ

グッ

グッ

グッ

グッ

ギョッ



残念だな

...なんか  
改めて思うのも  
変だけど

モ一さん  
本当に...  
女の子...だなあ

可愛いなあ

可愛い

かわいい

ト

ト



それなら...  
こっち行くよ?

...ムムム...!?

トントン

トントン



モ一さん  
顔見ながら  
したいんだけど

...やだ...

...あっ あっ  
膣内のキュンキュンで  
恥ずかしいのが  
めっちゃ伝わる

キーン

キーン

ギョッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

モ一さん



ばか ばかあ♡

や やらあ やらって いてんらろッ♡

びびり

びびり

びびり

ひゃ……♡

や……あ……♡

いっ♡ すんなよお……♡

またあ♡



ごめん  
なんていうか…

やーっ♡  
あ♡



— そうだ  
きつと実際…  
ただの一人の  
女の子として  
現界してるんだな

今のモーさんは



ヒュー♡  
アッ♡

アッ♡

アッ♡



でも俺は  
そんな  
モーさんが

…なんていうか  
モーさんが  
あんまりか  
わいくて

そんな  
女の子なんだ

ふあ…

クラレントと不貞淫しの兜  
宝具の剣と甲冑…  
騎士としての責務も  
両親との呪縛も  
ほとんど  
座に置いて  
永遠に備り受けてきたブリドゥエン  
父への小さな反抗心  
だけを持って  
やって来た



好きだよ

モーさん  
好きだッ

おんっ♡

うう  
うううっ…♡

♡♡♡  
♡♡♡

ばか

ますたああ♡

ばか…♡  
ばかあッ♡



久しぶりに  
彼女が夢を  
見せた

スゥ...



...それでも  
生まれまでは  
変えられない



今の彼女は  
騎士の重い甲冑を  
脱ぎ捨てて  
ここにいる



父親の複製として  
作られた体とか  
彼女を造った母親の  
妄念だとか

彼女そのものの  
存在に関わる理由は



それは誰にも  
取り除くことは  
できないだろう

.....な  
なんだよ

じろじろ見て...

.....でも



騎士の矜持は  
呪縛であると同時に  
彼女の心を  
守っていたんだらう

.....ん？

一人の女の子として  
現界している今の彼女には...  
ちよっと重すぎたのかも  
知れない



…えっと  
なんていうか…



俺には…  
モイさんの  
歳とか生まれとか  
存在理由とか

そういうの…  
関係なくてさ



…それだけ…  
伝えたくて

……ッ



ただ…  
好きだから

そばにいて欲しいし  
何でも頼って欲しい



……んな  
なかな何  
恥ずかしいこと  
抜かしてんだ

この  
バカマスターは…!!



……ま  
まあ

もどろ…

……これからも  
頼っていいって  
言うんなら…

……マスターには…  
「夏」を終わらせられないように  
オレを夢中にさせて  
もらおうか…な…?

# 次号 嘘予告



静かに!!!

ドゥアアア

——ってよオ!  
言ったそばから  
別のサーヴァントに  
うつつを抜かしやがって!!

今日の召喚は  
本当に  
大事なんだ!!

ばかじゃねえの!?



星の巡り  
時期 天候  
その他なんか  
色々な周期が  
告げている

そう 今日には  
特定の英霊が特に  
召喚されやすいと  
分析された

怖え……あ あ

またあ……

俗に言う!!  
ピックアップ!!



カッパッ

バラ

そお〜れ  
いけ〜れ  
!!!

俺の〇万円……!!!





**R-18**  
ADULT ONLY

